

長崎第一自治会 145世帯
袴田 ひであき 英明さん(57歳)



夕涼み会は子どもが主役



「会員の融和と 住み良い環境整備を大事に」

農村地帯だったのが今は農家は数軒、新たに住み着いた人が半分近くいます。従って地域内の融和を図ることと、住宅地としての環境整備に力を入れています。

3月に排水溝の清掃を行います。ほとんどの世帯が協力してくれ、近くの会社からも応援してもらっています。作業は午後までかかり、終了後は反省会で来年の話をしています。

会員の協力で芝生の庭を地域に開放してくれており、東屋まであります。7月はそこで夕涼み会(野外パーティ)を開き、いろんな食べ物だけでなくカラオケも用意しています。こどもから高齢者まで周辺からも参加しにぎやかです。

8月の盆踊りは昔からの伝統行事です。9月は隔年で連合会の運動会への参加、翌年はマイクロバス2台での町内レクリエーションです。

副会長を始め女性の役員が多く、積極的で行動力のあるのが自慢の自治会です。

まちかど

ウォッチング



1月30日、常盤小中学校体育館・交流センター・グラウンドで冬まつりが行われました。厳しい寒さの中、会場にはたくさんの人が遊びにきていました。

いつも元気



松山こども冬まつり

奉納者は常盤村渡部嘉助です。東雲台地から常盤村の奥までの山地は、かつては放牧場として広く利用されていました。農耕馬は田植えが終わると台地上の草原に放し飼いされました。農地を荒らさないように、あるいは隣部落との争いが起きないように境界の柵も設けられ、出入り口の門も作られたということ。馬の飼育と結びついた絵馬でしょう。

(古内龍夫)



馬の絵(二) 「常盤神明社(二)」

前回と同じく常盤神明社の所蔵絵馬です。前の絵馬と同じく三枚の板を合わせた横九十センチ、縦八十八センチの大絵馬です。これは退色が少なく肉眼でも比較的よく見えますが、細部を見るため赤外線写真で撮りました。前の絵馬と違って、馬が頸を引いて正面を見えています。白衣の神人が手綱を曳いて馬を押さえている図です。奉納馬らしく背を白布と紙垂で飾り、たてがみもきれいに分けています。前足をあげて暴れ馬のようにしていますが、馬の勇敢な様子を表しています。絵馬には諸願成就のような現世利益を目的としたものが多いのですが、この絵馬は馬といい、人といい、神への敬虔な祈りを感じます。奉納の年代は前回の絵馬に近いものでしょう。絵柄が似ていて、描線がしっかりしているなど、同一の絵師の作品と思われる。

のーろ道遙

歴史と民俗のあいだ